

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2022年 6月28日

愛知県知事 殿

名古屋市東区東桜1丁目1番10号
 (アーバンネット名古屋ビル)
 大同特殊鋼株式会社
 代表取締役 石黒 武
 社長執行役員

提出者

住 所 :大同特殊鋼株式会社 鋼材生産本部 知多工場

氏 名 :執行役員 鋼材生産本部知多工場長 永谷 哲洋

電話番号 :0562-33-3529

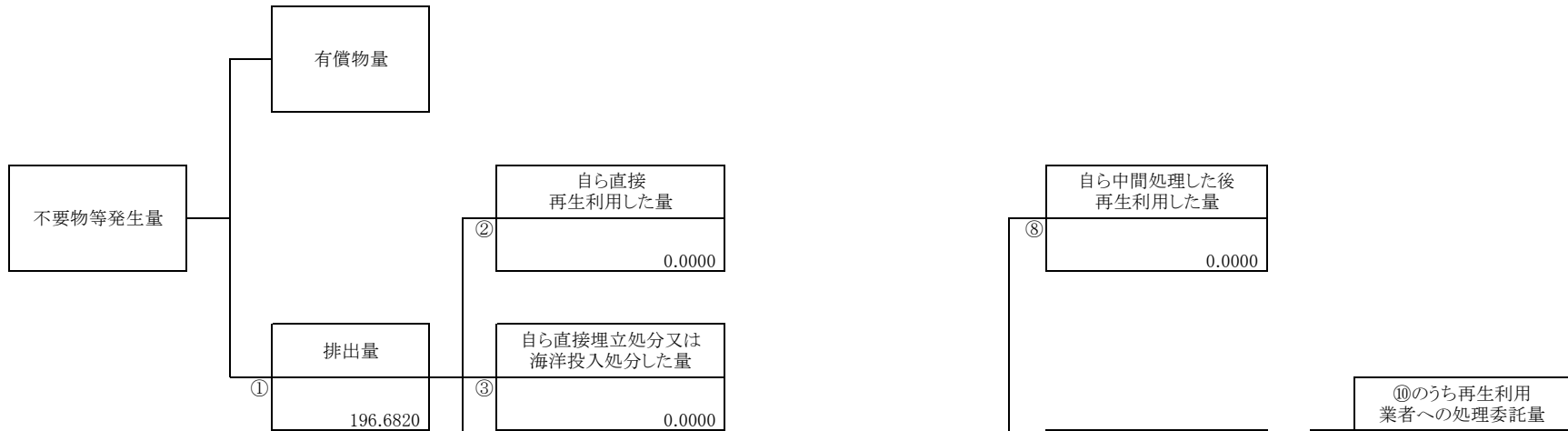
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2021年度の産業廃棄物

処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	知多第2工場		
事業場の所在地	愛知県知多市北浜町11番20		
事業の種類	22:鉄鋼業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2021年4月1日～2022年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1349t	全処理委託量	1349t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	1349t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	252t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

計画の実施状況

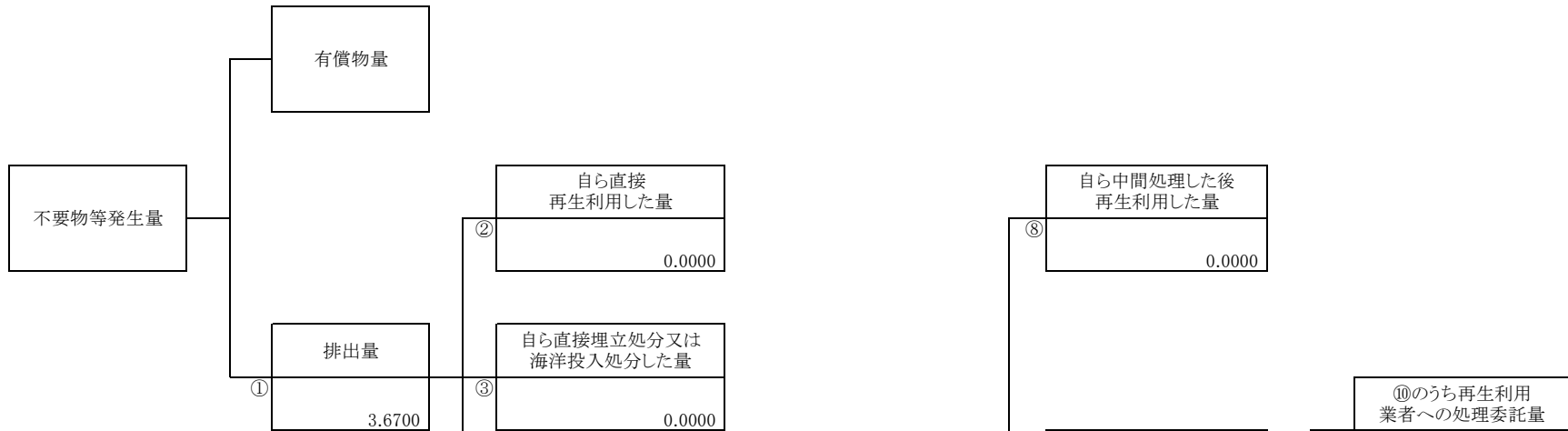
(産業廃棄物の種類:汚泥)



項目	実績値
①排出量	196.6820
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0000
⑤自ら熱回収を行った量	0.0000
⑦自ら中間処理により減量した量	140.8000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000
⑩全処理委託量	55.8820
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.8820
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0000

計画の実施状況

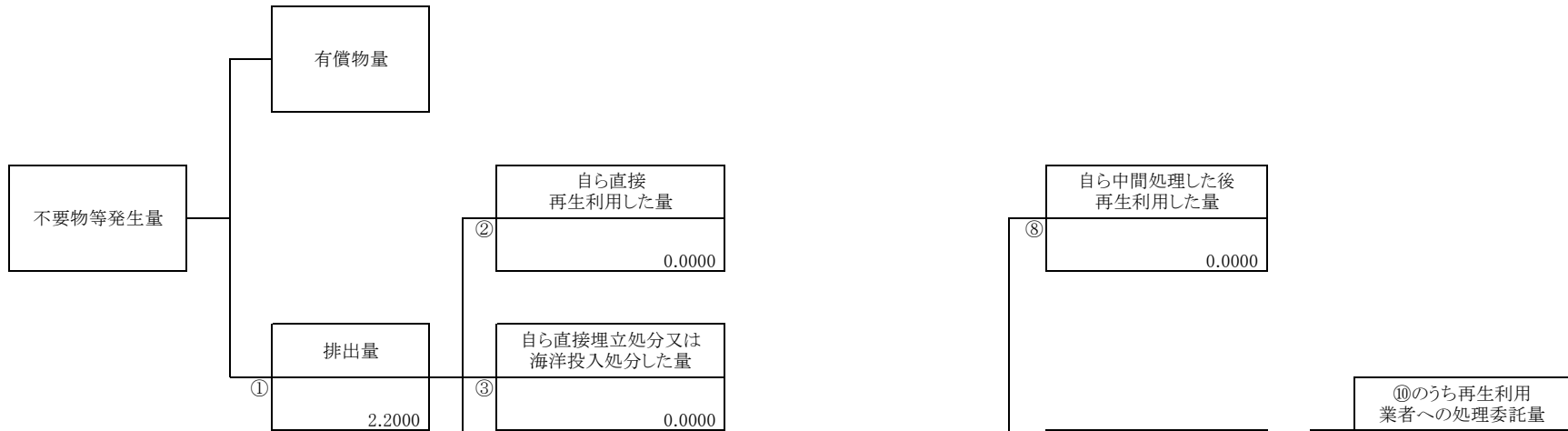
(産業廃棄物の種類: 廃プラ類)



項目	実績値
①排出量	3.6700
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0000
⑤自ら熱回収を行った量	0.0000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000
⑩全処理委託量	3.6700
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.6700
⑫再生利用者への処理委託量	3.6700
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0000

計画の実施状況

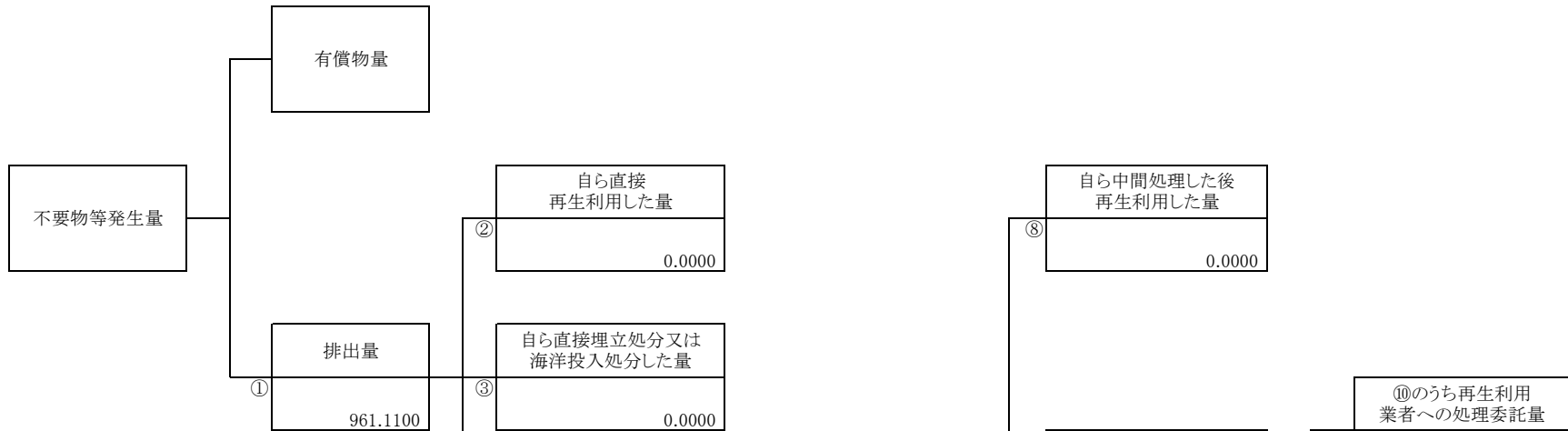
(産業廃棄物の種類: 木くず)



項目	実績値
①排出量	2.2000
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0000
⑤自ら熱回収を行った量	0.0000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000
⑩全処理委託量	2.2000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.2000
⑫再生利用者への処理委託量	2.2000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0000

計画の実施状況

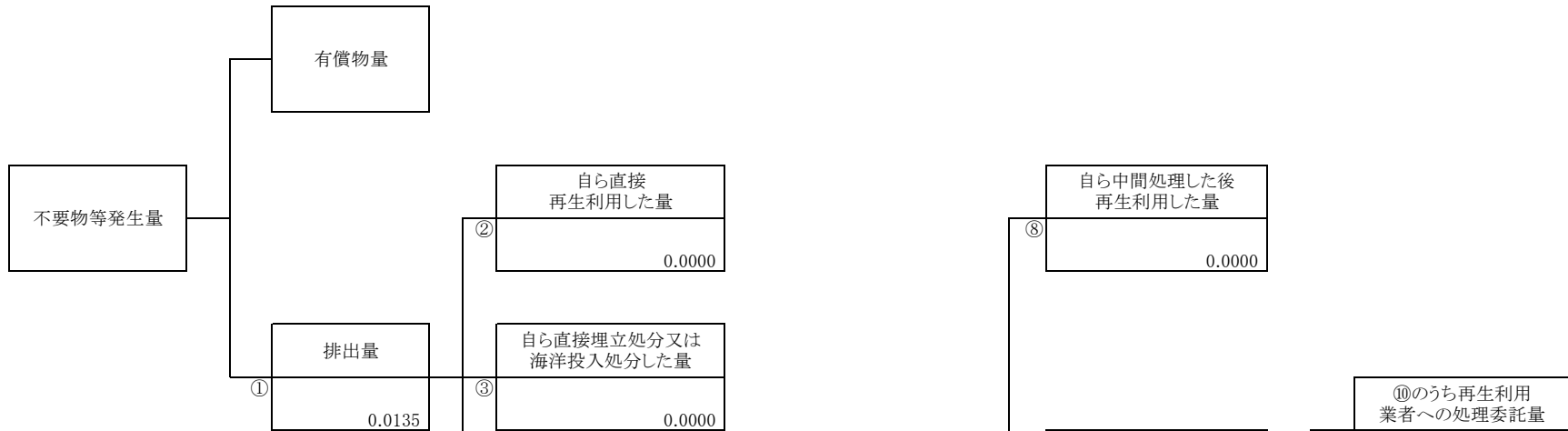
(産業廃棄物の種類:がれき類)



項目	実績値
①排出量	961.1100
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0000
⑤自ら熱回収を行った量	0.0000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000
⑩全処理委託量	961.1100
⑪優良認定処理業者への処理委託量	961.1100
⑫再生利用者への処理委託量	3.1700
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0000

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: (水銀製品) 蛍光灯)



項目	実績値
①排出量	0.0135
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0000
⑤自ら熱回収を行った量	0.0000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000
⑩全処理委託量	0.0135
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0135
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0135
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0000

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。